

障害のある人たちとの交流を通して自己の生き方を考える

< 高等学校 >

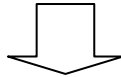
目的 障害のある人と出会い、社会の現状や障害のある人の思いや生き方を理解する。
障害者問題への理解を深めることを契機として、自己の生き方を考える。

気づく

障害のある人たちの生きる姿を知る

障害のある人たちの現実を理解する。
複数のケースにあたり、さまざまな生き方や楽しみ・苦勞などを知る。

障害のある人に関するさまざまな資料を使用する。

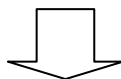


広げる・深める

調べたことを発表しよう

資料から得られた知見、自分の思いや考えなどをわかりやすくまとめる。
みんなの発表から、新たな事実や視点の違いなどを聞き取るようにする。

パソコンのプレゼンテーションなど、多様な発表手段を用いるようにする。

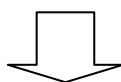


計画する

自分が出会いたいと思う人を考え、出会いの機会がもてるよう計画しよう

人の思いを大切にすることや人と出会うことの大切さを学ぶ。
自分でアポイントメントをとることによってコミュニケーション能力を身につける。

調べたことをもとに、出会いたい個人や団体を考える。その際、教員のアドバイスも参考にする。

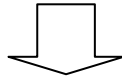


実践する

障害のある人のお宅や共同作業所などを訪問しよう

障害のある人の話を聞いたり、自分の思いや疑問を伝えたりすることでお互いの思いを交流し、さまざまな生き方にふれる。

聞きたいことや自己の思いなどを整理しておく。障害のある人と接する際の留意事項などをふまえる。障害に応じて可能なゲーム等を考え、一緒に楽しむこともできる。

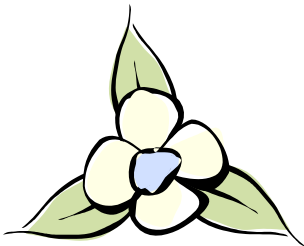


振り返る

自分にとっての課題や生き方について考える

調べたことや訪問を通して得られたことをまとめる。

自己の学びをまとめ、相手先への礼状を作成する。障害者問題の学びを契機として、自己の課題や生き方について考える。



【学習を進めるにあたって】

- ・訪問先での学びが豊かになるよう、訪問前の学習を充実させる。
- ・訪問・調査対象の選定や障害のある人と接する際の留意点などにかかわって、適切なアドバイスを与えられるようにする。